

## 【2月の演目】

### 一、ひとざと ひと里

めいじ ぶんごういずみきょうかさくし きねや かつとうじさつきよく  
明治の文豪泉鏡花作詞、杵屋 勝東治作曲  
さくひん かぐらざか まち ふうけい びしゃもんさま  
の作品で、神楽坂の街の風景や毘沙門様  
きよくちゅう うた  
が曲中に唄われています。

### 一、うめ<sup>うめ</sup>は<sup>さ</sup>咲いたか

めいじじだい りゅうこう えどはうた  
明治時代に流行した江戸端唄です。  
かりゅうかい げいぎ きせつ はなばな かい  
花柳界の芸妓たちを季節の花々や貝に  
たと うた  
例えて歌っています。

### 一、さわぎ

ざしきさんさ むかし えど  
お座敷三下がりといって、昔から江戸のお  
ざしき にぎ きよく  
座敷にはかかせない賑やかな曲です。フィ  
ナーレ きよく つね おど  
曲として常に踊られています。

## 【3月の演目】

### 一、ひとざと ひと里

めいじ ぶんごういずみきょうかきくし きねや かつとうじさつきよく  
明治の文豪泉鏡花作詞、杵屋 勝東治作曲  
さくひん かぐらざか まち ふうけい びしゃもんさま  
の作品で、神楽坂の街の風景や毘沙門様  
きよくちゅう うた  
が曲中に唄われています。

### 一、はる はな 春は花

はうた はる はな きょうと かがい ふる  
端唄「春は花」は、京都の花街で古くから  
した ぶようきよく きょう し き はる  
親しまれてきた舞踊曲「京の四季」の“春”に  
あたる いっせつ はる おとず ひとびと  
あたる一節です。春の訪れとともに人々の  
こころ う た じょうけい かる せんりつ  
心が浮き立つ情景を、軽やかな旋律と  
しゃだつ し えが た  
洒脱な詞で描き出しています。

### 一、さわぎ

ざしきさんさ むかし えど  
お座敷三下がりといって、昔から江戸のお  
ざしき にぎやか きよく  
座敷にはかかせない賑やかな曲です。フィナ  
きよく つね おど  
ーレ曲として常に踊られています。